

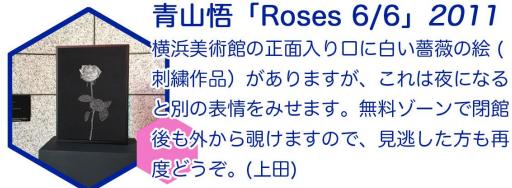
ヨコトリ2017 みどころ map

YOKOHAMA TRIENNALE 2017

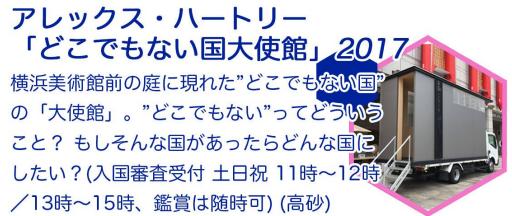
ヨコトリのサポーターたちが
「ぜひみて欲しい！」
と思う作品をピックアップしました。

A 横浜美術館

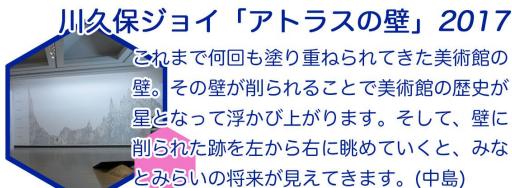
ヨコハマトリアンナーレ2017のなかで、もっと多くの作品が集まる会場であり、ヨコトリ関連イベント情報や周辺のアート情報も多く集まる。ヨコトリサポーターはこれらを拠点に活動中。お気軽にお声かけください。



青山悟「Roses 6/6」2011
横浜美術館の正面入り口に白い薔薇の絵（刺繡作品）がありますが、これは夜になると別の表情をみせます。無料ゾーンで閉館後も外から覗けますので、見逃した方も再度どうぞ。(上田)



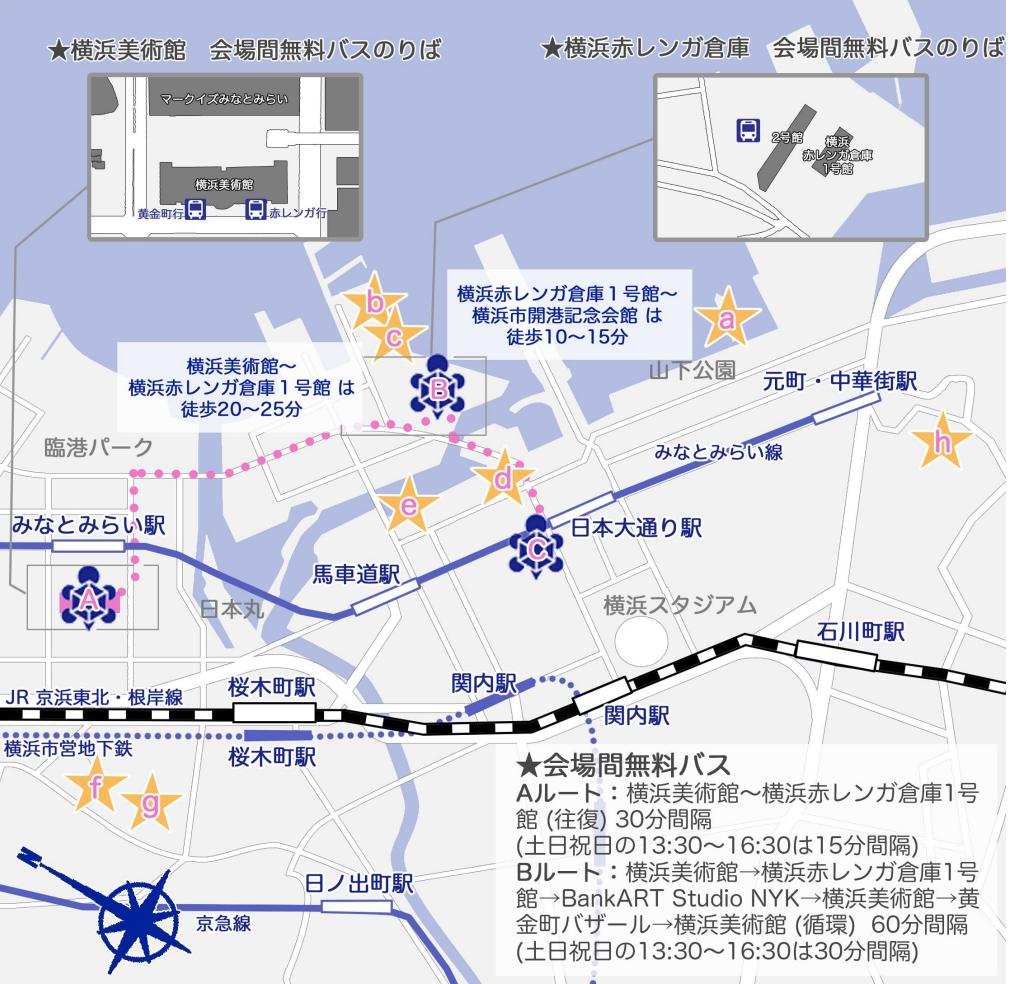
アレックス・ハートリー
「どこでもない国大使館」2017
横浜美術館前の庭に現れた“どこでもない国”的「大使館」。“どこでもない”ってどういうこと？もしそんな国があったらどんな国にしたい？(入国審査受付 土日祝 11時～12時／13時～15時、鑑賞は随時可) (高砂)



川久保ジョイ「アトラスの壁」2017
これまで何回も塗り重ねられてきた美術館の壁。その壁が削られることで美術館の歴史が星となって浮かび上がります。そして、壁に削られた跡を左から右に眺めていくと、みなとみらいの将来が見えてきます。(中島)



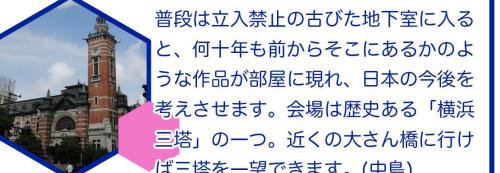
ザオ・ザオ「スーツ」2016
高級ブランドのジャケットと、そっくりに作った作家のお母さんのお手製ジャケット。どちらがどっち？親子の価値観の隔たりを垣間見る作品。(山岸)



C 横浜市開港記念会館 地下

柳幸典「Project God-zilla—横浜市開港記念会館の地下室」2017

今年で開館100年となる横浜の代表的な建造物の一つ。この1フロアを丸ごと使い、柳幸典の大規模な展示が行われている。



普段は立入禁止の古びた地下室に入ると、何十年も前からそこにあるかのような作品が部屋に現れ、日本の今後を考えさせます。会場は歴史ある「横浜三塔」の一つ。近くの大さん橋に行けば三塔を一望できます。(中島)

ささっと入ってしまうと見逃してしまいますが、展示入口の鏡面にある2行も大事なメッセージです。ここで始まって、これだけの大事件であったはずなのに…の気持ちが沸き起こるきっかけになる2行だと思います。(大岡川)

★ヨコハマサイト

展示会場を飛び出し、横浜の歴史とまちに出会う試み。有料施設はチケット提示で無料。

a 日本郵船氷川丸「旧三等食堂」

(10:00-17:00, 月曜休)

田村友一郎「γ(ガンマ)座」2017

静かで、ジワリとくるインスタレーションです。作品は見学ルートの後半、旧三等室食堂にあります。氷川丸の展示もゆっくり観ると作品理解につながると思います。(大岡川)

b 海上保安資料館横浜館

c 旧横浜港駅プラットホーム跡

d 横浜税関資料展示室

e 日本郵船歴史博物館

f 岩龜稻荷

g 掃部山公園

h 横浜外国人墓地

ヨコハマトリアンナーレ2017 「島と星座とガラパゴス」

会期：2017年8月4日（金）～11月5日（日）
休場日：第2・4木曜日

時間：10:00 - 18:00 (最終入場17:30)

入場料：一般¥1800、大学・専門学校生¥1200、高校生¥800、中学生以下無料

横浜トリアンナーレ（ヨコトリ）は、3年に1度開催される現代アートの国際展。今年のテーマは“接続”と“孤立”であり、ここから世界の今を考えます。アーティストを厳選し、個々のアーティストの創作世界に深く触れられる展示になっています。

B 横浜赤レンガ倉庫1号館

元倉庫の広大な空間を生かしたスペクタクルな作品や、ユニークで楽しい作品が集まる会場。

クリスチャン・ヤンコフスキ「重量級の歴史」2013「マッサージ・マスター」2017

「重量級の歴史」は、ポーランドの重量挙げの選手がワルシャワ市内の歴史的人物の像を持ち上げようとする作品。ロナルド・レーガン像(元アメリカ大統領) vs 屈強な男たちの勝負の方は…？！勝負後のコメントにも注目。(山岸)

「マッサージ・マスター」はセラピストがその専門スキルで横浜の彫刻を癒します。皆さん本気です。全力です。(中島)

Don't Follow the Wind 「ウォーク・イン・フクシマ」2016-17

室内のヘッドセットから360度映像空間へ。そこでは福島の帰還困難区域内にある作品などが鑑賞できます。作品を現地で鑑賞できる日がきますように。(中島)

ドン・ユアン「おばあちゃんの家」2013

解体される作家の祖母の家を記憶に残そうと描いた作品。祭壇・家財道具・寝具から引き出しの中の物・窓辺の植木・料理に至るまで詳細に再現。あなたも中国のおばあちゃん家にお邪魔してみて。(山岸)

宇治野宗輝「プライウッド新地」2017

まずはとにかくエモーショナルなこの空間を体感して欲しい作品！赤レンガ倉庫に現れたこの“街”をつくりだしているモノたちには、ある共通点が。作者初となる映像作品をみながら探してみてください。(高砂)

照沼敦朗「ミエテルノゾム君の夢製造伝奇」「ミエナイノゾミちゃんの視界コンプレックス」2017

ミエテルノゾム君は視力が弱く、もっとよく見えることを望んでいる。ミエナイノゾミちゃんは、逆に千里眼のように見えすぎることで困っている。どちらも絵画と動画の組み合わせで、細かいところを見ていくと楽しい。(上田)

